

(3) 調査結果 (データ整理・解析結果)

(3.1) 調査地点の分類について

調査地点の分類は表 2.3.1-1 に示す、「地理的な分類」及び「都市・非都市による分類」で行うものとする。PM_{2.5} は局所的な影響と広域的な影響を受けることが考えられるが、ここでは、広域的な影響の状況を解析するために地理分類による整理を行った。また、PM_{2.5} は人為的な発生源による影響を強く受けることから、都市部、非都市部での分類を行った。

これらの分類でデータを平均して、整理を行った。

各分類で複数地点ある地域等における地点ごとの月別・季節別データの変動を図 2.3.1-2～図 2.3.1-6 に示す。また、地点ごとの PM_{2.5} (SASS) の炭素・イオン成分の割合を図 2.3.1-7～図 2.3.1-10 に示す。

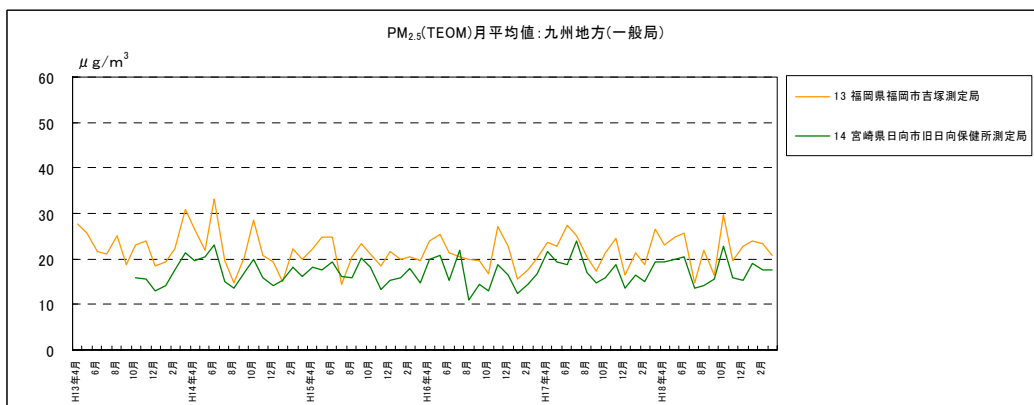
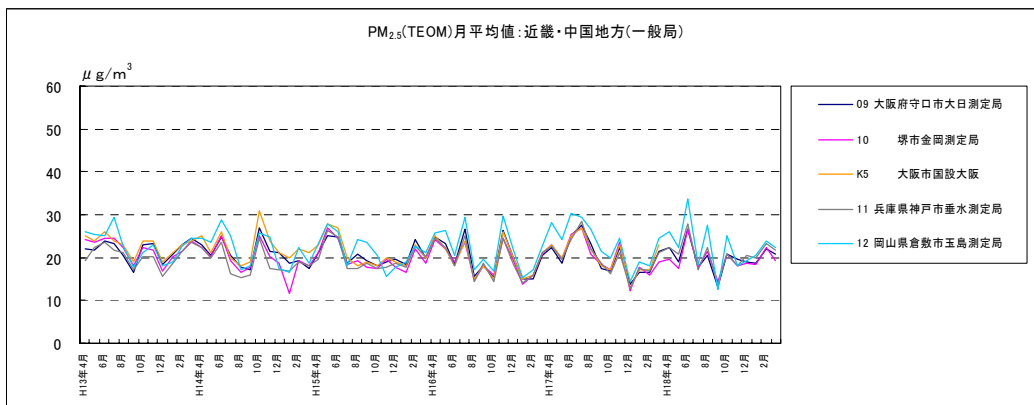
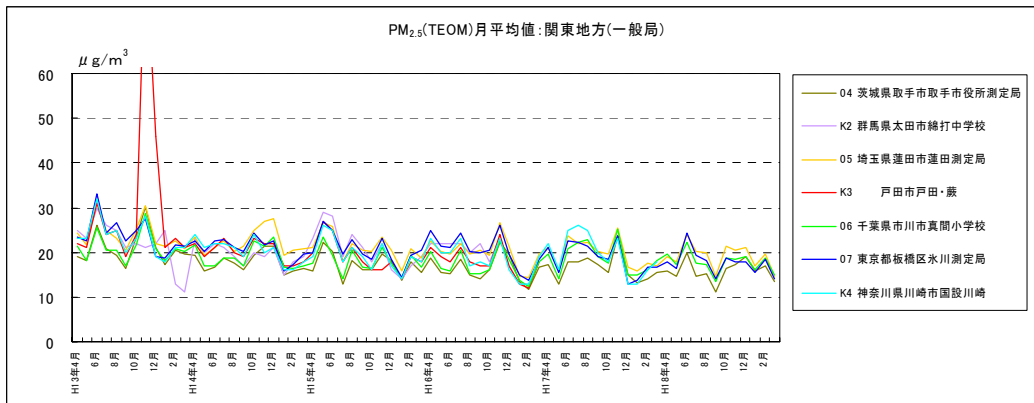
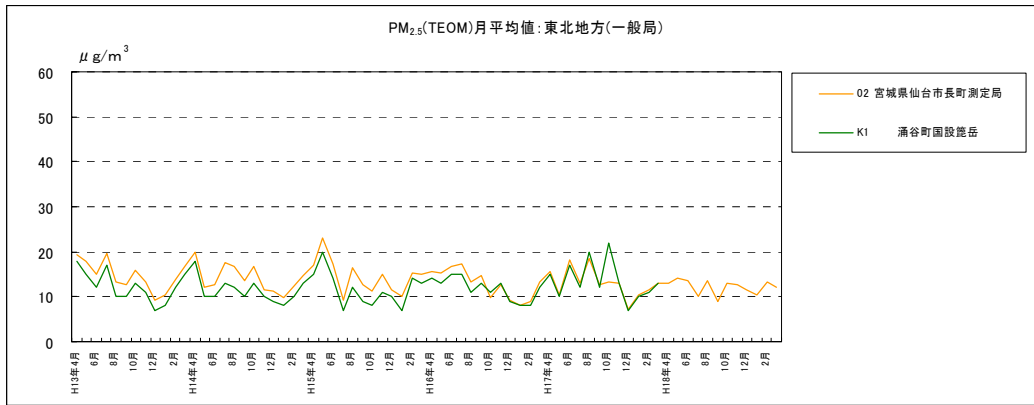
なお、本調査で分類・整理した調査結果は、限られた測定地点でのデータによるものであり、各地域や一般局・自排局などの傾向を代表したものではないことに留意する必要がある。

表 2.3.1-1 調査地点の分類

地理的な分類	都市・非都市による分類
(一般局) 1. 北海道 2. 東北地方(宮城県) 3. 甲信越地方(新潟県) 4. 関東地方(茨城県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県) 5. 東海地方(愛知県) 6. 近畿・中国地方(大阪府、兵庫県、岡山県) 7. 九州地方(福岡県、宮崎県)	1. 一般局(都市部) 茨城県、埼玉県、千葉県、東京都、 愛知県、大阪府、兵庫県、岡山県、福岡県 2. 一般局(非都市部) 北海道、宮城県、新潟県、宮崎県 3. 自排局 茨城県、埼玉県、千葉県、東京都、 神奈川県、愛知県、大阪府、兵庫県
(自排局) 8. 関東地方(茨城県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県) 9. 東海地方(愛知県) 10. 近畿地方(大阪府、兵庫県)	



図 2.3.1-1 調査地点の分類



※北海道、甲信越地方、東海地方については、ブロック管内に1測定局のみであるため、グラフ表示を省略した。

図 2.3.1-2 PM_{2.5} (TEOM) の地理的な分類 (一般局)

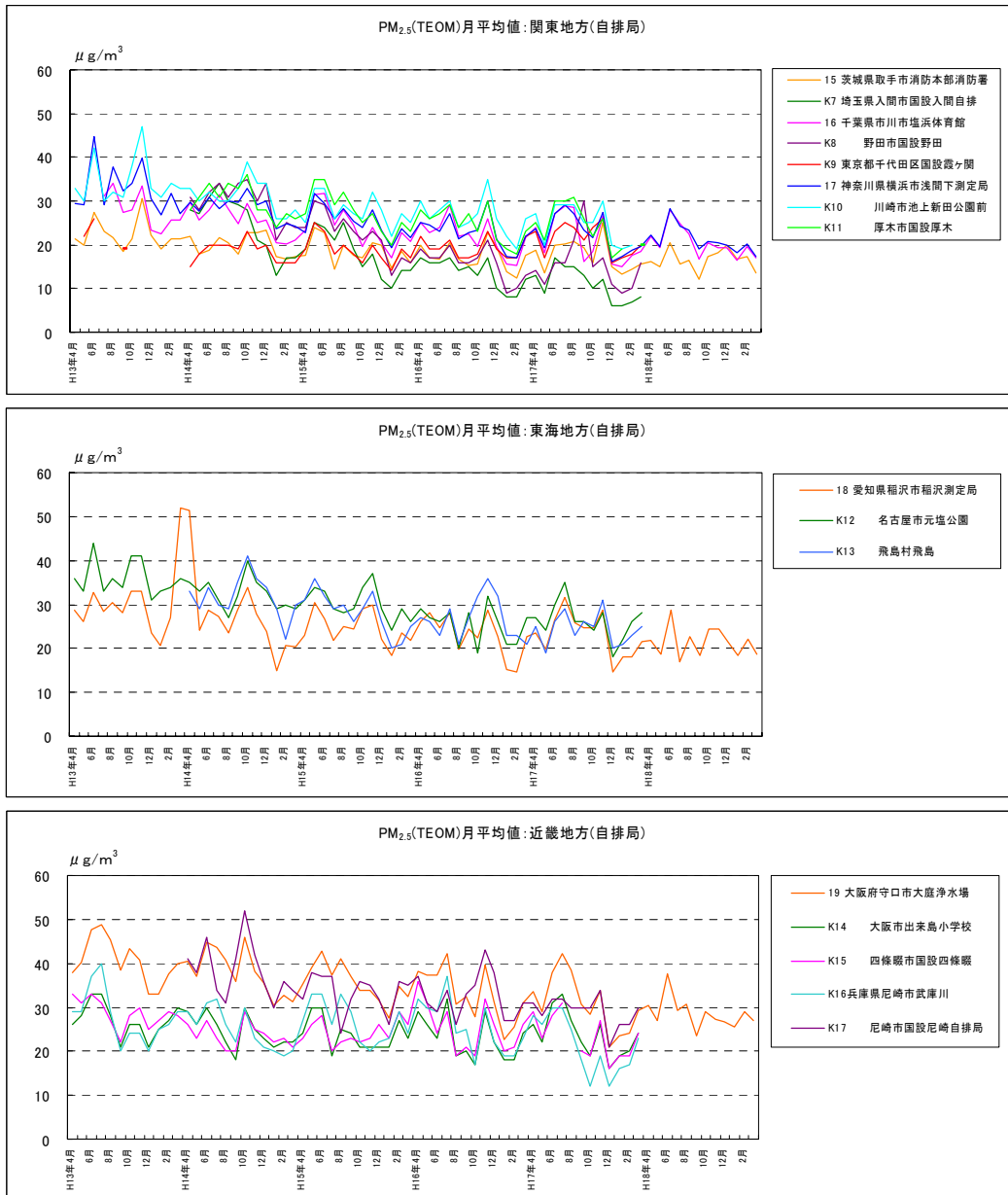


図 2.3.1-3 PM_{2.5} (TEOM) の地理的な分類 (自排局)

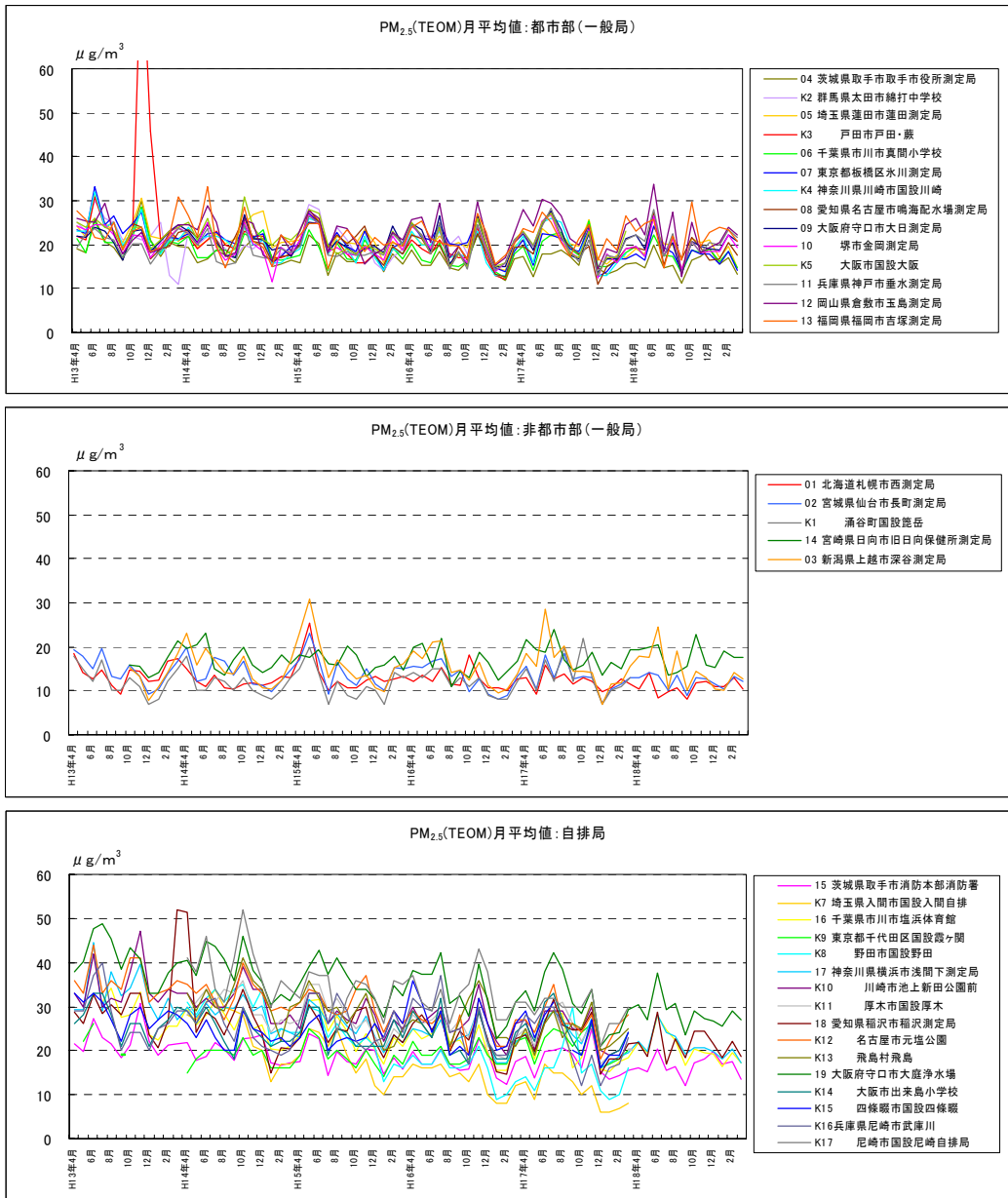
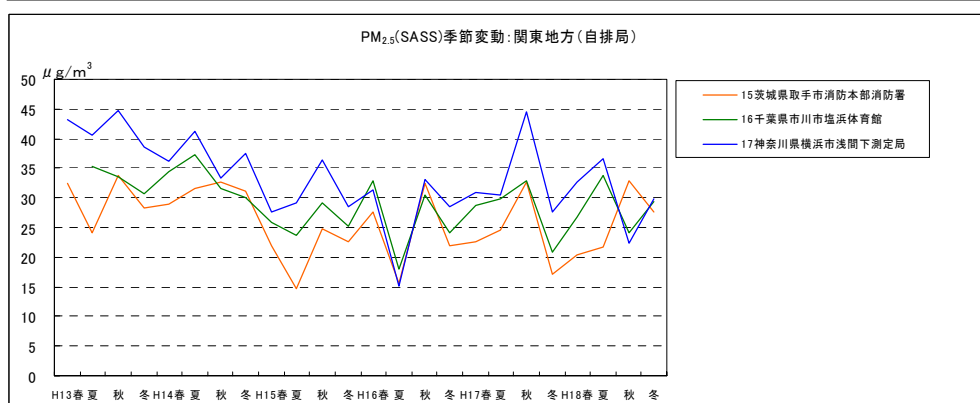
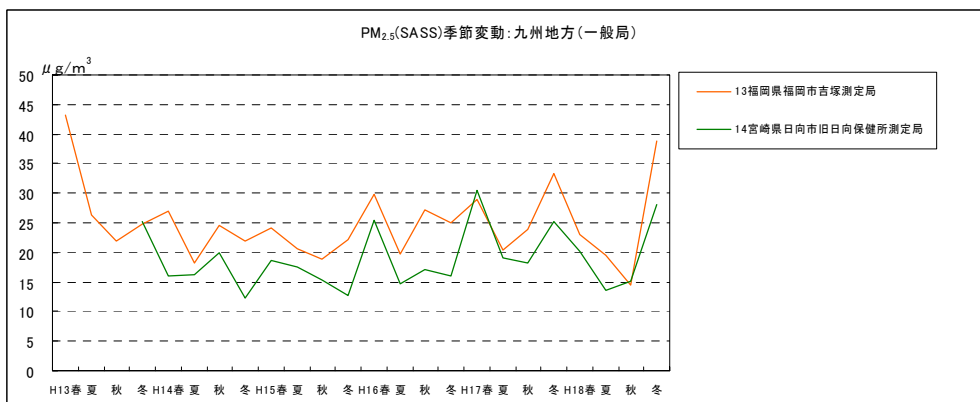
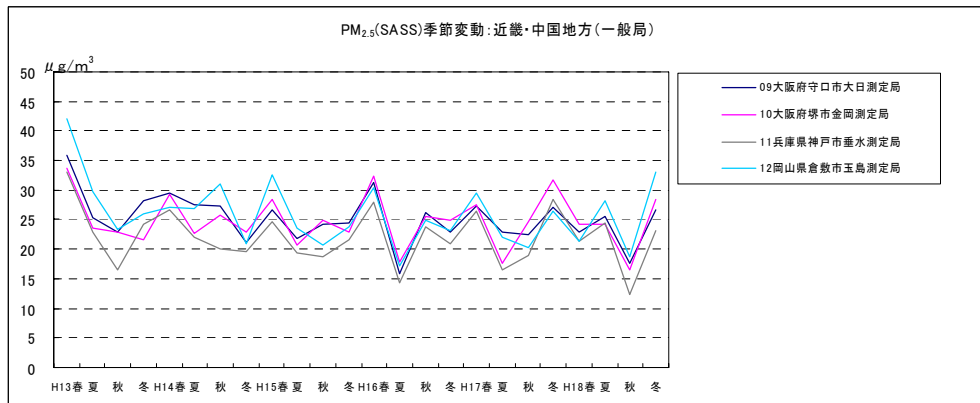
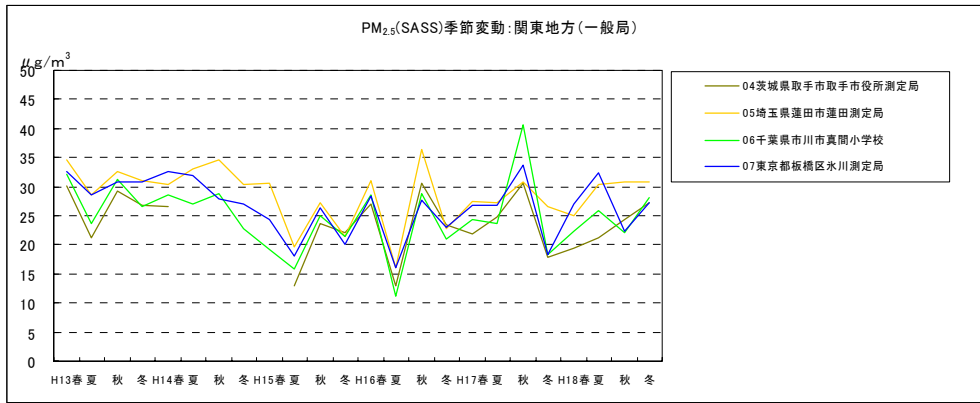


図 2.3.1-4 PM_{2.5} (TEOM) の都市・非都市による分類



※一般局の北海道、東北地方、甲信越地方、東海地方及び自排局の東海地方、近畿地方については、ブロック管内に1測定局のみであるため、グラフ表示を省略した(図2.3.1-7~図2.3.1-10についても同様)。

図 2.3.1-5 PM_{2.5}(SASS)の地理的な分類

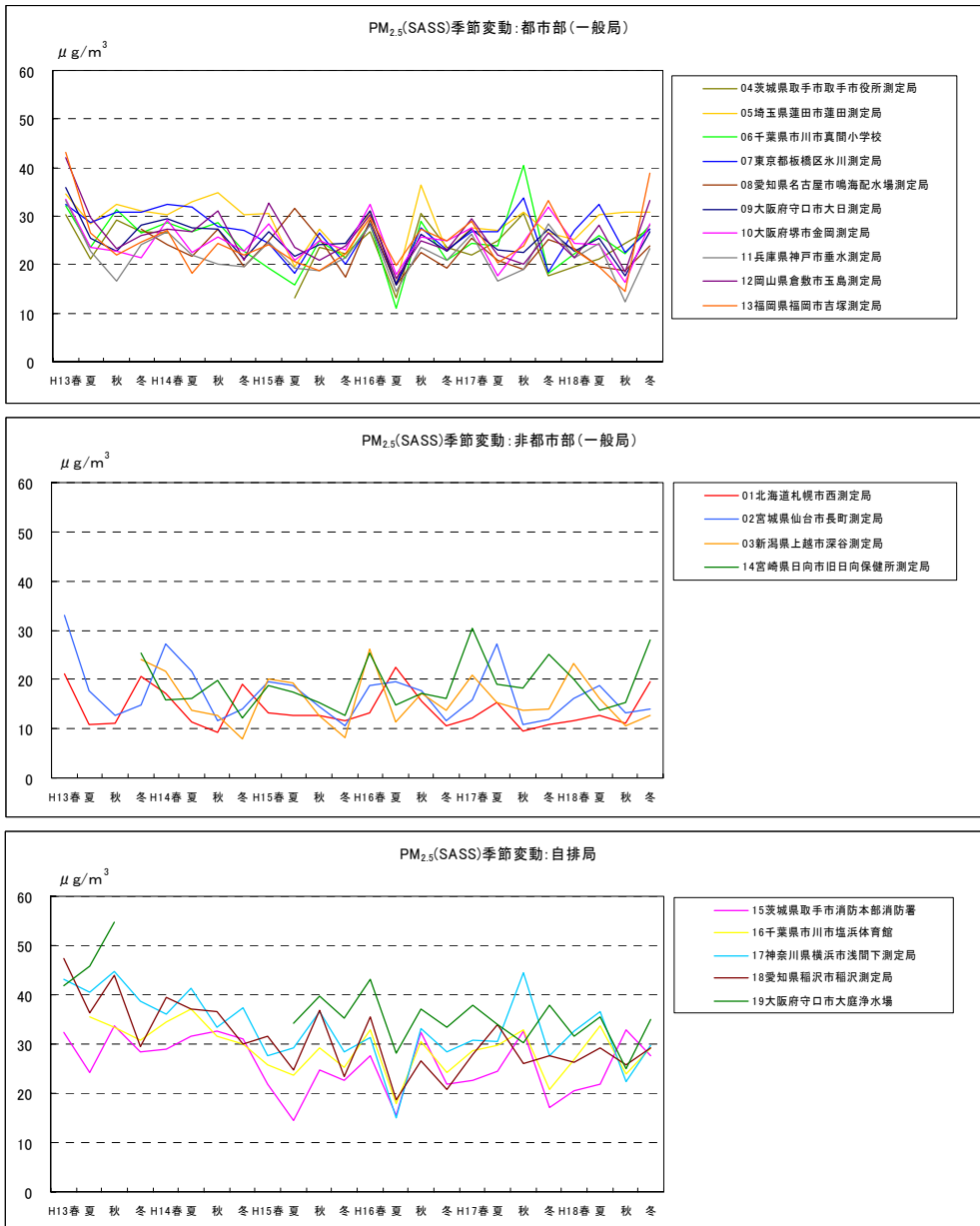
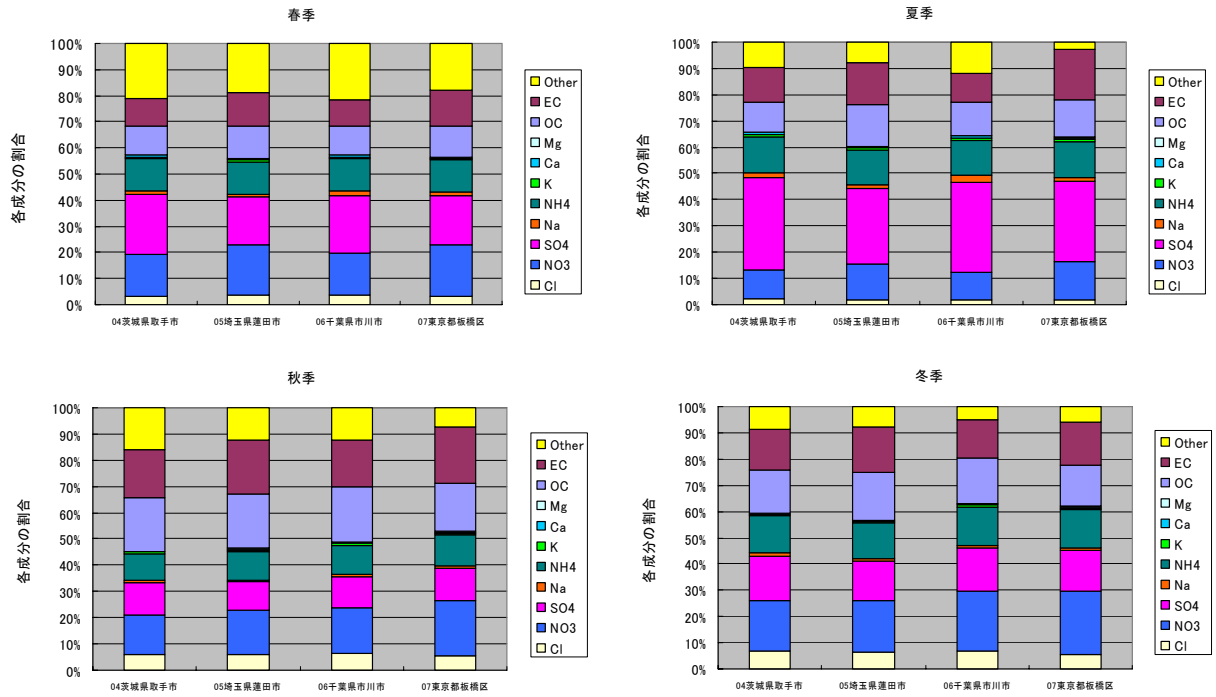


図 2.3.1-6 PM_{2.5} (SASS) の都市・非都市による分類



※Other: 質量濃度から炭素及びイオン成分濃度を引いたもの(以下の図についても同様)
 図 2.3.1-7 $PM_{2.5}$ (SASS) の炭素・イオン成分の割合 (平成 13~18 年の平均 : 関東地方 (一般局))

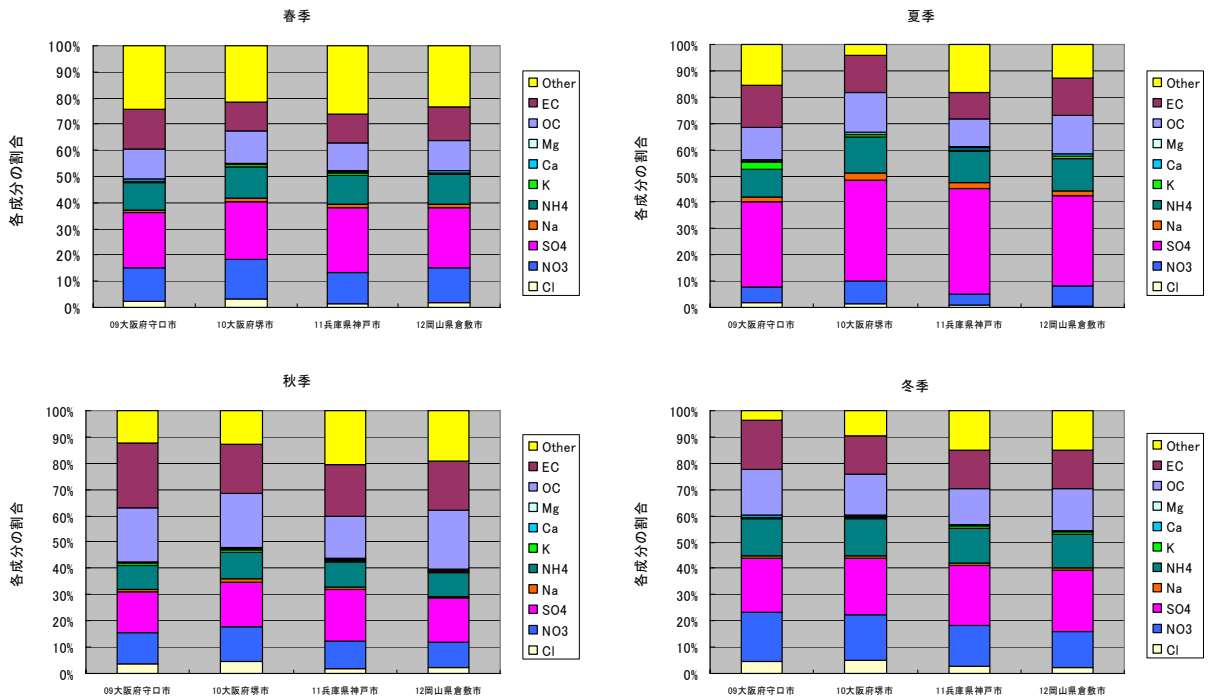


図 2.3.1-8 $PM_{2.5}$ (SASS) の炭素・イオン成分の割合 (平成 13~18 年の平均 : 近畿・中国地方 (一般局))

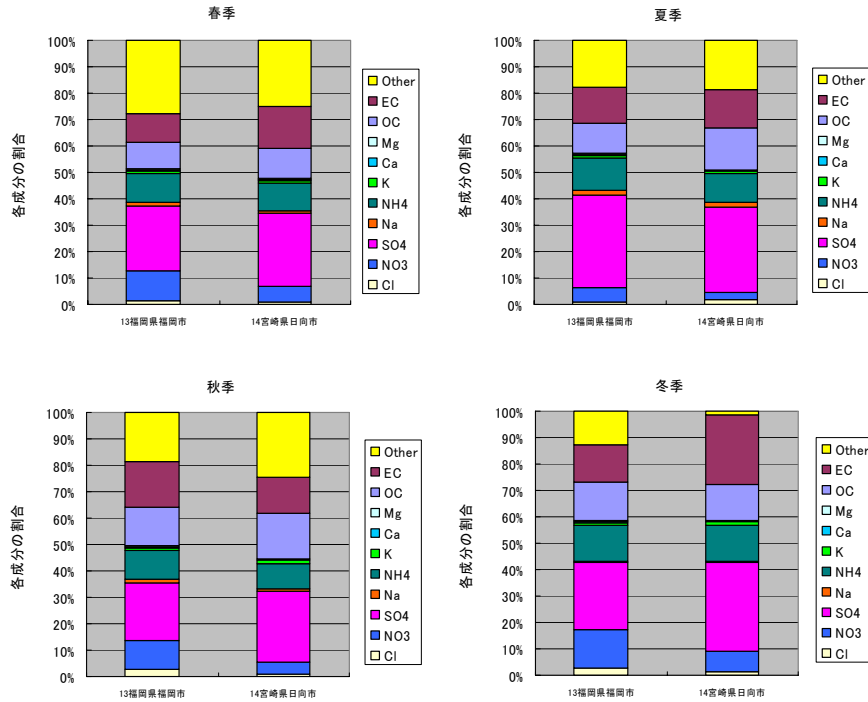


図 2. 3. 1-9 PM_{2.5} (SASS) の炭素・イオン成分の割合 (平成 13~18 年の平均 : 九州地方 (一般局))

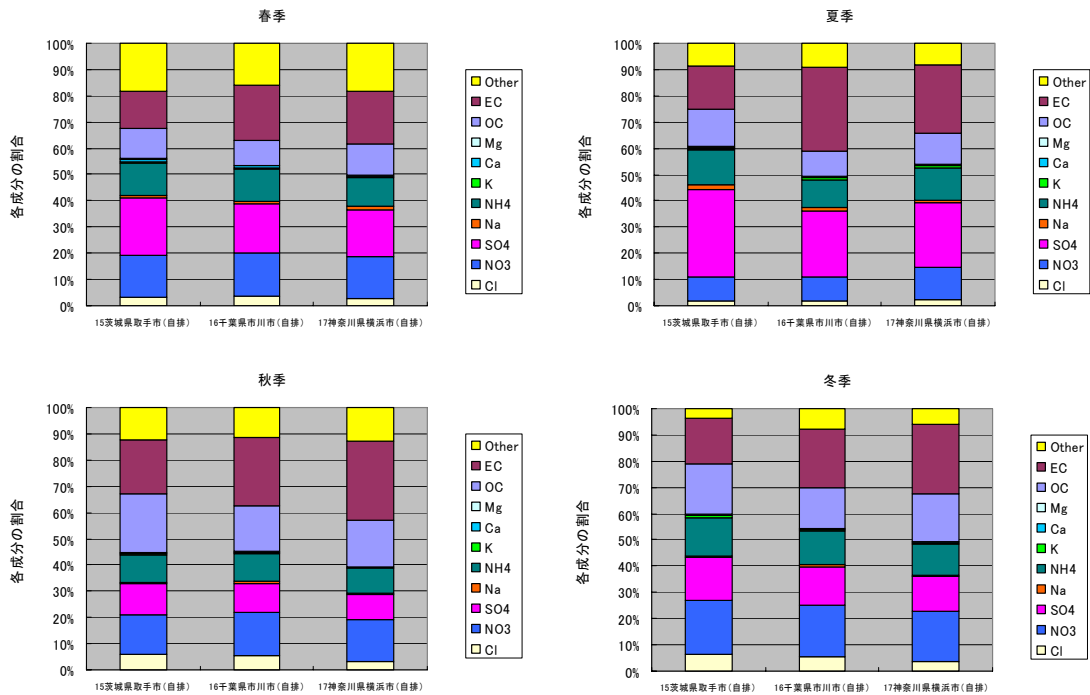


図 2. 3. 1-10 PM_{2.5} (SASS) の炭素・イオン成分の割合 (平成 13~18 年の平均 : 関東地方 (自排局))